

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜工業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和8年2月10日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 岐阜工業高等学校 記念館2階 大会議室
開催にあたり、委員と3年生徒7名の座談会を実施した
- 4 参加者
- | | | |
|-------|-------|------------------------|
| 委 員 | 安藤 博之 | 本校 育友会 会長 |
| | 岩田 愛 | 本校 育友会役員(副会長) |
| | 堀口 里奈 | 本校 育友会役員(副会長) |
| | 田島 安子 | 安藤菓子店 店長 (欠席) |
| | 亀井 孝宏 | (株)光製作所 総務部 課長 (欠席) |
| | 黒田 昌彦 | (株)黒田製作所 代表取締役 社長 |
| | 古田 流一 | 岐阜プラスチック工業(株) 人材開発部 部長 |
| | 渡邊 伸一 | 名古屋鉄道(株) 笠松駅駅長 |
| 学 校 側 | 堀 秀樹 | 校長 |
| | 関谷 博子 | 事務部長 |
| | 山田 智徳 | 副校長 |
| | 籠橋美和子 | 教頭 |
| | 岩口 一平 | 教頭 |
| | 関口 健 | 教務主任(全日制) |
| | 高橋 宏幸 | 教務主任(定時制) |
| | 山口 敦 | 生徒指導主事 |
| | 増井勇一郎 | 進路指導主事 |
| | 岩佐 昌尚 | 工業教育部長 |
| | 小澤 智也 | 研究推進・広報部長 |

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 令和7年度末自己評価・学校関係者評価について(全日制)
- (2) 令和7年度末自己評価・学校関係者評価について(定時制)
- (3) 来年度の取組について

意見1: 問題行動や教育相談について説明があったが、最近問題行動は増えているのか。また指導はどのように行っているのか。

⇒問題行動が増えているわけではない。問題行動は、少ない学校である。問題行動に対しては、確認の上指導を行い、反省の機会を設けている。校長自身も、関係の生徒に対して、しっかりと話をしている。担任も生徒支援部も、丁寧に対応している。引き続き、問題行動の削減に努める。

⇒定時制においても、生徒間のトラブルはあるが、教員の日々の指導の中で、状況をみながら、よりよい方向に生徒が向いていくように継続的に指導をしている。

意見2: 地域や企業、外部と関わる連携を多く実施しており、その結果、生徒の自主性が育

ち、生徒が自発的に行動していると座談会を通じて実感した。こうした取組みを継続してほしい。

意見 3 : 企業見学や出前授業を生徒はとても楽しみにしており、体験を通じて生徒は情報を得、進路の選択肢を増やしている。素晴らしい内容であり、継続してほしい。

意見 4 : 会社では、受け身ではなく、自分で走る「自走」を目指して工夫している。生徒の話の聞くと、皆自分の意思で動き、自走していると実感し、感心した。

意見 5 : 就職が多い中、進学指導にも力を入れている。進学支援のための岐工アカデミアの実施や、小論文対策、その他様々な指導をしているのは非常に良い。

意見 6 : 定時制について、難関資格の取得や、進路支援を通じて、常に生徒に自信を持たせるための指導に取り組んでいるところに感銘を受けた。

意見 7 : コロナ禍を経験した世代は、会社で休みがちになるケースがあるが、定時制から会社に来た生徒は毎日しっかり来て、成長している。学校でしっかり育てている。今後も頑張してほしい。

⇒全日制においても定時制においても、欠席遅刻を減らすために常に指導している。

他校に比べると本校の欠席遅刻は少ないが、産業教育を担う学校として、今後も基本的な生活習慣の確立と、生徒の人間性の成長を念頭に指導を行う。

意見 8 : 勉強も大切だが、生徒には一人の人間として成長してもらいたい。社会に出ると、人から信頼されることはとても大切だ。「この人なら大丈夫だ、頼れる」という人になってもらいたい。

意見 9 : 目標、評価基準を作り、結果について振り返ることは会社でも絶対にやっていることだが、学校でこうして振り返り来年度に向けての課題を見出していることがよく分かり、非常に勉強になった。

意見 10 : 生徒を見ている限り、目立ってマナーが悪い生徒もおらず、非常にまじめな生徒が多い。また、何か問題があったときには、すぐに対応し、生徒に対して一人ひとりしっかり指導している、といういい印象を受けた。そうした学校や先生方の姿勢が、普段の生徒達の生活態度にも表れている。

意見 11 : 本校生徒の課題研究や地域の事業への協力は、どの科も、どの生徒も、素晴らしい内容である。今後、科をこえて地域の団体や会社とともに地域連携を行えば、さらに素晴らしいことができる。難しい面もあるが是非実現してほしい。自分も、保護者として、地域として協力していきたい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、3年生との座談会を通して、生徒の学校生活や課題研究、保護者との関わり、進路実現に向けた取組みと抱負など、生徒の生の声を委員に伝えることができた。委員からは率直な感想や意見が出され、年度末の自己評価について理解が得られた。

承認された今年度の課題や来年度への取組みをふまえ、今後も組織で更に充実した特色ある教育活動を実践して生徒を育成し、保護者や企業、地域の方等、多くの方に対して本校の魅力を発信したい。